

## (1) 滞在型観光による宿泊・交流人口の拡大

### ① 遊歩道の再整備

#### ○とちの森遊歩道整備(トレッキング)

- ・維持管理(落石箇所の調査・整備、除草、安全施設(ロープ等)の設置・撤去) ※予算要求中
- ・利用者の安全管理(野生動物対策等)
- ・登山用装備+ガイド付き(※観光ガイド付きが前提)

※遊歩道整備は計画的に課題整理しながら進め、試験的に実施



とちの森遊歩道からの宇奈月ダム湖眺望

### ② 宇奈月温泉街のトレッキングコースの整備

#### ○コースの検討

- ・温泉街のトレッキングコース、浴衣で行けるコース等の作成

※温泉街に滞在してもらえよう、観光ガイドの養成と併せて進める

#### ○見どころ紹介用(施設等)の案内看板の設置

- ・温泉街巡りが楽しめるよう、見どころに案内看板を設置

※案内看板設置箇所については、今後、調査予定

#### ○観光ガイドの養成

- ・温泉街、とちの森遊歩道、街中等のガイドの養成

#### ○ガイドマップの作成

- ・温泉街の魅力を効果的に発信するガイドマップの作成

#### 【今後、検討しながら進める課題項目】

- ①遊歩道の新規ルートの開拓、②宇奈月ダム湖の活用、③宇奈月大原台(宇奈月温泉スキー場)の利活用、④宇奈月温泉の新たな魅力創出(宇奈月谷、宇奈月公園等の整備)等



浴衣姿の観光客

## (2) 地区住民と商店街連携によるまちなかの活性化・景観整備

### ① Wi-Fiの整備

#### ○宇奈月温泉街のWi-Fi環境整備(R1年度中)※6カ所予定

- ・滞在時間の延長、着地型観光の推進。外国人観光客にやさしい環境づくり

### ② 空き家、空き店舗、空き地等の有効活用

#### ○空き家、空き店舗、空き地調査

- ・利用できるもの、景観整備が必要なもの、壊すものを整理し、活用方法を検討
- ・温泉街の賑い創出(イベント等の開催)

### ③ 景観整備と道路整備

#### ○案内看板設置場所調査

- ・見どころ紹介用の看板設置場所の調査



温泉街周遊低速電気バス「エミュ」



宇奈月温泉の街中にある総湯

#### 【今後、検討しながら進める課題項目】

- ①宇奈月温泉開湯100年事業、②エミュ(低速電気バス)の利活用、③温泉街の賑い 等

## (3) 電源開発の歴史ボランティアの養成

### ① 電源開発の歴史ガイドボランティアの養成

#### ○観光ガイド組織の設立とガイドボランティアの養成

- ・「宇奈月の歴史と文化を楽しむ会」のメンバーが中心となり組織を設立(予定)
- ・観光ガイドの募集・・・令和2年3月予定
- ・ガイド養成研修会の開催・・・令和2年4月～  
(内容)①研修、現地視察、②先進地視察、③おもてなし研修 等

#### ○ガイドマニュアルの作成

黒部川の電源開発施設は日本の20世紀遺産(近代遺産)であり、その起点となった旧山彦橋は日本の土木遺産としても評価されており、その歴史と魅力を国内外に発信

※宇奈月温泉を訪れるお客様から、観光ガイド要請の声があり、早急に進めたい。

※各旅館・ホテルの従業員の知識の醸成

各旅館・ホテルの宿泊者や観光客へのPR活動として、観光ガイド研修会への参加要請を行い、まち全体で「おもてなし意識」の向上をはかる。



黒部ルートの玄関口：樺平上部軌道トンネル

## (4) 黒部峡谷鉄道沿線の魅力創出

#### 【今後、検討しながら進める課題項目】

### ① 鐘釣周辺の魅力創出

- 河原露天風呂の再整備等
- 足湯の設置(河原まで行けない高齢者への満足度向上)
- 東鐘釣山展望コース(案)の整備

### ② 樺平周辺の魅力創出

- 自然(水)と触れ合う環境整備  
・樺平河原展望広場、祖母谷温泉周辺でのイベント開催等

### ③ 黒部峡谷キャニオニングツアー

- キャニオニングツアー等のアクティビティ商品の造成  
・日本一の清流である黒部川の活用

黒部峡谷でのキャニオニング



黒部川でのラフティング

## (5) その他

### ① 芸術・文化拠点施設として宇奈月国際会館セレネの活用

### ② 広域連携

- 市内及び広域的な観光ルートの造成
- 将来的には観光圏(黒部・魚津・入善・朝日)等で広域的に取り組む

### ③ 宇奈月大原台地域の活用(グリーンシーズン)

- ジップライン、アスレチック等、スキー場の形状を活かしたアクティビティな場所作り

### ④ 一般開放記念イベントの実施 等

※R2年度から、市内全体での取り組み内容を検討



富山湾の幸



くろべ牧場 まきばの風